

資料 1

生徒の学習環境について

○ 学校の適正規模についての考え方

- (1) 高校生は厳しい現実の社会が目前である。社会性・自主性・協調性等を育むためには、多くの個性的な生徒と出会い、お互いに切磋琢磨する環境が大切である。
- (2) 進学や就職等の進路希望に適切に対応するには、教科・科目の専門性を確保することが必要である。そのため、例えば理科では物理・化学・生物などの専門の教員を配置しなければならない。
- (3) 自分の興味・関心に応じて、多くの部活動の中から選択できることも必要である。

《参考資料》

普通科高校 学級数別比較表(概数)

1 学年学級数 (全年学級数)	校長	教頭	教員	養護教諭	実習教師	事務職員	計
1 (3)		1	7			1	9
2 (6)	1	1	13	1	1	2	19
3 (9)	1	1	19	1	1	2	25
4 (12)	1	1	25	1	1	3	32
5 (15)	1	1	31	1	1	4	39
6 (18)	1	1	37	1	1	4	45

※上記教職員定数は「高等学校標準法」に基づく職種別配当数の目安である。

部活動数 (H30 年度 実績)

国東高校		双国校	
運動部	文化部	職業系	職業系
野球部 陸上競技部 テニス部 柔道部 ハレーボール部 バスケソフトボール部 弓道部 卓球部 ウェイトリフティング部	美術部 書道部 文芸部 茶道部 ESS 将棋部 放送部 JRC 新聞同好会	鑑定部 バイオ部 情報処理部 工業技術部	野球部 陸上競技部 ソフトテニス部 総合運動部
合計 22		合計 5	

資料2

双国校における入学者数の推移

1. 過去の入学者数推移 (H26～H30)

地域	H26	H27	H28	H29	H30
国東市	14	12	9	8	10
姫島村	6	7	1	3	1
その他	7	5	7	2	4
入学者数	27	24	17	13	15

2. H31年度入試結果

地域	推薦入試志願者数	一次入試志願者数	二次入試志願者数	最終合格者数
国東市	0	7	0	7
姫島村	0	3	0	3
その他	0	4	0	4
合計	0	14	0	14

資料3

募集停止基準 及び 双国校の在籍者数推移 (過去5年間)

【募集停止基準】

2年連続して在籍生徒数が総入学定員の2/3(66.7%)未満

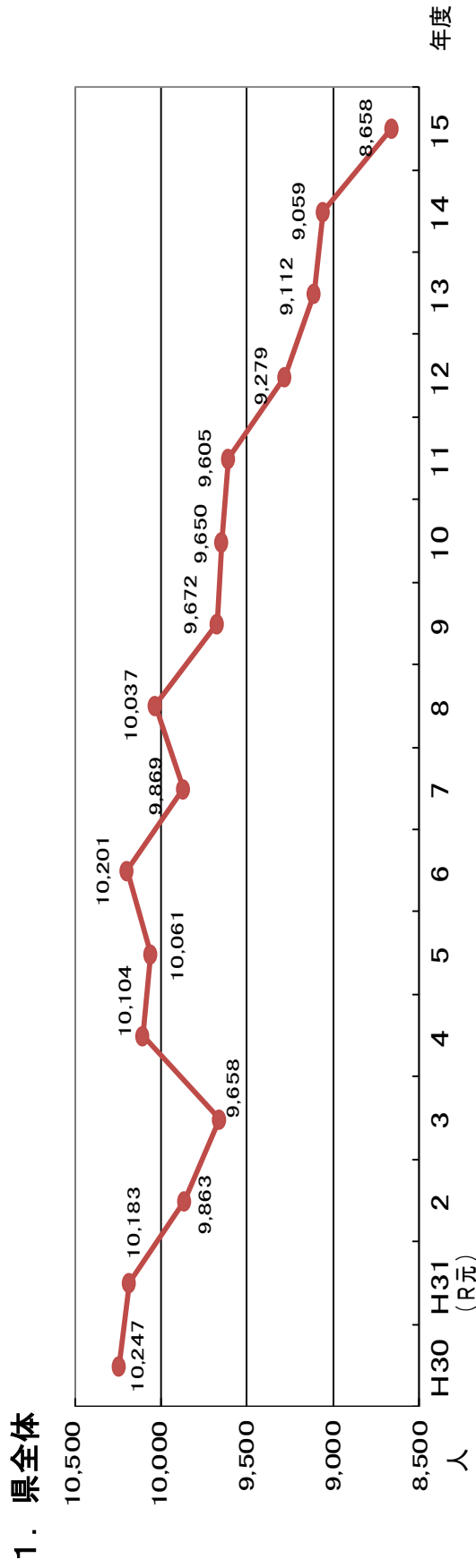
【双国校 在籍者数の推移】

	H27	H28	H29	H30	H31(R元)
1年生	24	17	13	15	14
2年生	27	24	17	13	13
3年生	29	27	24	17	11
総在籍者数(人)	80	68	54	45	38
総定員(人)	120	120	120	110	100
定員充足率(%)	66.7	56.7	45.0	40.9	38.0

※上表の網掛けは募集停止基準該当年度

資料 4

中学校卒業予定者数 推移



2. 国東・姫島地域の中学校卒業予定者数

	H31(R元)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
国東市	203	201	192	178	189	206	174	165
(旧国見町)	(28)	(24)	(25)	(22)	(26)	(16)	(21)	(15)
姫島村	9	14	13	9	11	17	5	14
合計	212	215	205	187	200	223	179	179

〔H30 学校基本調査〕

資料5

双国校 地域を担うIT人材の育成 (H29年度の取組)

「地域の高校活性化支援事業」

IT人材育成 スキルアップ

全授業、全時間タブレット学習



英語



体育



情報

IT関連 資格取得講座

外部講師(大原簿記学園)と連携した日商簿記対策講座

- 全商実務検定(珠算・簿記・ビジネス文書)1級 59名(H28:45名)
- 全商 情報処理検定 1級 9名(H28:1名)
- 日商簿記検定 2級 1名(H28:0名)

双国校生による地域住民へのIT講座

双国校生による地域の方へのIT技術指導、年賀状づくり等

- 出前講座 平成29年7月 姫島村で実施 参加者20名



- 双国講座 平成29年12月 双国校で実施 参加者30名



商業活動を通じた人材育成

タブレットを活用した双国マーケット

地域での人気商品リサーチ、商品仕入れ、タブレットでの商品紹介・販売活動 収支決算までの商業活動を実践



IT人材育成に向けた地域との連携

商品開発による「人材育成」と魅力ある「まちづくり」学校づくりを目的とした国東市等と連携した『地域ソーセイプロジェクト』開始



【地域の高校活性化支援事業】

- H28 採択 一人1台 タブレット配備
- H29 採択 地域でのIT講座開設
- H30 採択 地域特産品を使った商品開発 など

国東高校・双国校創生プロジェクト

○国東の課題

- ・将来の国東を担う人材の育成
- ・国東高校の活性化(定員充足・特色化)
- ・姫島中生徒の進路先の確保、学習環境の整備

○本校・分校の一体化による教育の充実

- ・多人数による切磋琢磨できる教育環境の整備
- ・環境土木科の新設、普通科の充実
- ・全県に人材輩出するための県立学生寮整備

○土木技術者の養成

- ・頻発する豪雨、台風災害に対する産業界からの要望
- ・土木関係職種の人材増
(土木建築業求人数 H29: 771人 → H30: 882人)
- ・国東地域には土木系人材育成に係る学科等の設置なし

【国東双国一体化】

《現状》

国東高校(本校)

園芸ビジネス科	40人
電子工業科	40人
普通科	80人
双国校(分校)	
総合ビジネス科	30人
入学定員	190人

国東高校

- ・園芸ビジネス科
- ・環境土木科(新設)
- ・電子工業科
- ・普通科
- 〔・進学コース
・ビジネスITコース〕

入学定員は9月に発表

【特色】

- ・スケールメリットにより、部活動等の充実が図られる
- ・普農工商が専門の教員から学べ、1校で地域を担う人材育成が可能
- ・環境土木科では地元の世界農業遺産を教材とした実践的な教育ができる
- ・県の土木関係機関と連携したスキルアップ指導が可能

《一体化後》

各学科の教育内容

園芸ビジネス科 : 草花、野菜、果樹、バイオの4類型

- ・塩トマト、メロン、七島蘭、ハマボウフウなど、地域特産品の開発

環境土木科 : 県内唯一の学科新設(全県から募集)

- ・農業、工業の両方が学べるメリットを活かし総合土木人材を育成
- ・電子工業科 : メカトロニクスなど機械、電気、電子
- ・キャンオンや半導体関連産業などの地域産業人材の育成

普通科 : 難関大学から就職まで、幅広いニーズに対応

- ・地域医療、福祉、教育・保育、マーケティング、IT等の体験学習を充実

県立学生寮の整備

- 教職員住宅をリフォームし、県立の学生寮を整備する。

今後のスケジュール

R元. 5月	地域説明会
8月	第2回教育委員会 双国校募集停止(協議)
9月	第2回教育委員会 入学定員決定
R2. 4月	国東・双国一体化スタート
11月	学生寮完成予定